農業融資営農類型別目利き研修

研修目的	農業融資への対応能力を強化することを目的に、営農類型別に実践的な知識・ノウハウを習得し、併せて融資判断のケーススタディを行う。 ※営農類型は、県域の実情に応じて、「稲作」「野菜」「酪農」「養豚」「肉牛」から２業種を選定。 ケーススタディは、農家からの借入申込み対応（対象農家を「野菜」「養豚」から選定）。 経営改善資金計画書の策定演習も対応可能（対象農家を「稲作」「野菜」から選定）。
受講対象	営農類型別に実践的な知識・ノウハウの基本を習得したい者 ≪メインターゲット≫ 信用事業部門の業務経験２年未満の農業融資担当者 信用事業部門の新任管理者
受講人数	推奨：10～25名（上限：30名まで）
研修日程	１日 （研修で実施する営農類型を追加する場合やケーススタディを追加する場合は２日研修）
研修講師	Ｊ－ＰＡＯ

【研修プログラム】

研修内容	開講挨拶	オリエンテーション	●●県域の農業	農業金融の特徴	主な業種の特徴と融資ポイント	営農類型別特徴①	※稲作・野菜・酪農・養豚・肉牛から選択	営農類型別特徴②	※稲作・野菜・酪農・養豚・肉牛から選択	（昼食）	ケーススタディ（休憩は適宜） ※農家からの借入申込みへの対応演習 （農家は「野菜」「養豚」から選択） ※経営改善資金計画書の策定演習も対応可能 （農家は「稲作」「野菜」から選択）	閉講挨拶
時間	10	10	10	20		40		40		60	230	10

事前課題	なし	
事後課題	なし	